

JavaプログラミングⅡ

2回目 クラスの基本（2）メソッド

クラス クラスとは

フィールド（変数）とメソッド（関数）を併せ持つデータ型

メソッド 一定の処理をまとめたブロック
引数と戻り値をもつ

引 数 メソッドを実行する時に、そのメソッドに渡す情報
仮引数と実引数がある

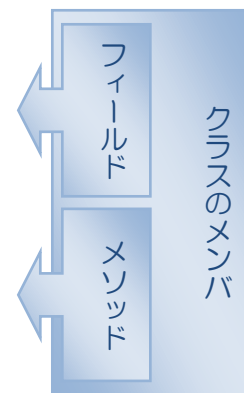
- ・仮引数とは、メソッド側で値を受け取る変数
- ・実引数とは、メソッドを呼び出す時に渡す値

戻り値 メソッドの実行後に、そのメソッドから渡される情報
return 文を用いて行う

return 文 実行中のメソッドの処理を終了し、
戻り値がある場合はそれを返す

宣 言

```
class クラス名{  
    型 フィールド名;  
    :  
  
    戻り値の型 メソッド名(引数リスト){  
        本体;  
        return 式;  
    }  
    :  
}
```



※この他、メンバにはクラスやインタフェースの宣言を持たせることもできる

書 式

	引数あり	引数なし
<u>引数リスト</u>	該当の引数のリスト	「空欄」

	戻り値あり	戻り値なし
<u>戻り値の型</u>	該当の型	void
return 式;	return 式; ※式は、該当の型に一致	return; または「省略」

本体: メソッドの処理を記述する

自身のメンバへアクセスする（※A）

- フィールドへ → フィールド名
- メソッドへ → メソッド名(引数リスト)

また、次のようにもできる

- フィールドへ → this.フィールド名
- メソッドへ → this.メソッド名(引数リスト)

this.修飾子 自クラスのオブジェクトへの参照としての意味をもち
現在の自身のオブジェクトへの参照

クラスの利用

- メンバへアクセス
1. クラスのオブジェクトを生成する
 2. オブジェクトを指定してメンバへアクセスする（※B）
 - フィールドへ → オブジェクトを参照する変数.フィールド名
 - メソッドへ → オブジェクトを参照する変数.メソッド名(引数リスト)

